

エコアクション 21
環境活動レポート
2014 年度版
(2014 年 4 月～2015 年 3 月)



～自然随順～

2015 年 6 月 30 日発行

西部電機株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境目標の実績と環境活動計画の取組結果とその評価、 今後の取組	7
(1) 二酸化炭素排出量の削減	7
(2) 廃棄物排出量の削減	8
① 一般廃棄物排出量の削減	8
② 産業廃棄物排出量の削減	9
(3) 水使用量の削減	9
(4) 物質使用量(購入量)の削減	10
(5) グリーン購入の推進	11
① 事務用品のグリーン購入の推進	11
② 製造部品のグリーン調達の推進	11
(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進	12
(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底	12
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反訴訟等の有無	13
8. 内部監査の実施状況	14
9. 環境教育訓練の実施状況	14
10. 全体の反省と今後の取組	14
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	15
12. 地域への貢献	15

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

西部電機株式会社 取締役社長 宮地 敬四郎

(2) 本社及び支店・営業所所在地

本社	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号	
支店	東京支店	〒136-0071 東京都江東区亀戸二丁目26番11号
	大阪支店	〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目4番5号
営業所	名古屋営業所	〒468-0015 名古屋市天白区原二丁目3101番地
	広島営業所	〒730-0013 広島市中区八丁堀1番17号
	九州営業所	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
出張所	札幌出張所	〒060-0033 札幌市中央区北三条東八丁目352番地
サービス センタ	東京サービスセンタ	〒272-0014 千葉県市川市田尻一丁目13番2号
	名古屋サービスセンタ	〒468-0015 名古屋市天白区原二丁目3101番地
	大阪サービスセンタ	〒567-0803 大阪府茨木市中総持寺町1番17号
	九州サービスセンタ	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
工場	本社工場	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

URL : <http://www.seibudenki.co.jp/>

(3) 環境管理責任者

専務取締役 藤岡 敬正

(4) 担当者連絡先

生産技術部 生産技術課 課長 小粥 市郎
 事務局 権藤 利佳
 TEL 092-941-1525 FAX 092-941-1520
 E-mail : ogai-ic@seibudenki.co.jp

(5) 主要な事業内容

事業部門	主要な商品及び事業	
搬送機械	立体自動倉庫、ケース自動ピッキングシステム、ピースピッキングシステム、FAシステム、搬送・ハンドリングシステム	
産業機械	産機部門	バルブアクチュエータ、ゲート駆動装置
	精密機械部門	超精密・高精密ワイヤ放電加工機、高精密小形NC旋盤、高精密自由形状研削加工機

(6) 事業規模

(2014年度実績:2014年4月～2015年3月)

区分	搬送機械	産業機械		生産技術部	管理部門	合計
		産機部門	精密機械部門			
売上高(百万円)	5,120	10,044		-	-	15,164
従業員数(人) 〈支店・営業所〉	90 〈61〉	97 〈38〉	67 〈11〉	52	28 〈7〉	334 〈117〉
敷地面積 69,207 m ²			総従業員数 451 人			

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象組織

西部電機株式会社

本社・工場・九州営業所・九州サービスセンタ

(従業員数 348 人)

〒 811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

(2) 対象活動

搬送機械、産業機械、工作機械の製造販売

(3) 対象外事業所

東京支店

大阪支店

名古屋営業所・名古屋サービスセンタ

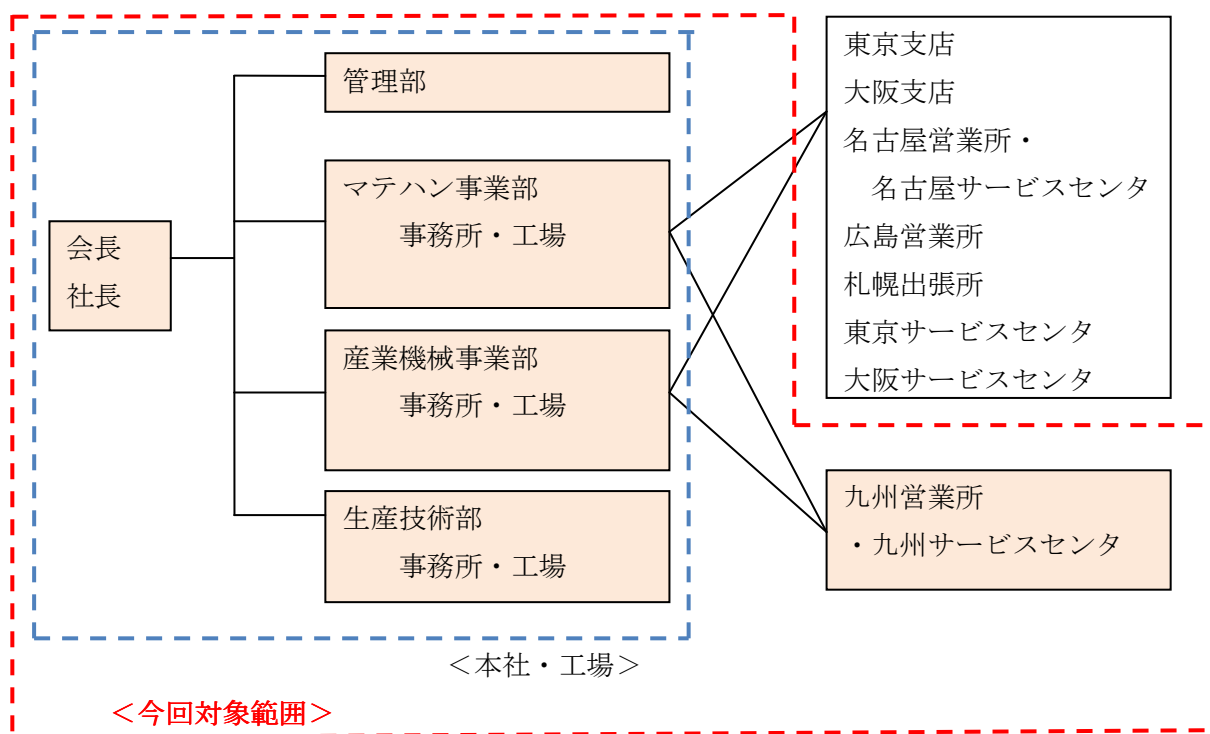
広島営業所

札幌出張所

東京サービスセンタ

大阪サービスセンタ

・上記事業所は、来年4月を目途に拡大する予定です。



[全社組織図]

3. 環境方針

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用で、メカトロニクス製品を提供し、広く社会に貢献しています。今、地球環境の改善が世界共通の重要課題として認識される中、当社も企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に努めています。今後も「環境と共存する西部電機」を目標に、積極的かつ継続的に改善活動を図ります。

環境スローガン

「未来に残そう豊かな自然」

基本理念

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用と、環境に配慮した企業活動及び社員の行動によって、地球環境の保全と改善を継続的に推進します。

行動指針

1. 企業活動にともなう環境への影響を把握し、環境保護の継続的改善と環境汚染の予防に取り組みます。
2. 環境に関する法規制、条例及び地域との協定などを遵守すると共に、「具体化対策」の策定及び実施により、環境保全の一層の向上に取り組みます。
3. エネルギー消費の削減、特に電力使用量の削減を図り、地球温暖化防止に努めます。
4. 廃棄物の削減と分別回収を図り、再資源化、再使用を推進し、資源の有効活用に努めます。
5. 省エネ、小形軽量化、部品点数の削減等環境に配慮した商品開発を推進します。
6. 化学物質の管理を徹底し、排出や流出などによる環境汚染の防止に努めます。
7. 購買に関しては、環境負荷の少ない資材、設備などグリーン調達を推進します。
8. 環境保護に関する社員教育を実施し、環境保全の意識向上に努めます。
9. 地球社会の一員として、環境保全の責任を果たし、安全で快適な地域社会づくりに貢献します。
10. 資源である水の有効利用を推進するため、節水に努め、水使用量の削減に努めます。

制定日 2012年9月25日

改定日 2013年7月 1日

西部電機株式会社

取締役社長

宮地 敬四郎

4. 環境目標

- 当社では、2012年10月よりエコアクション21の取組を開始し、2013年9月認証を取得、その活動を維持継続するため、2014年度の環境目標を次のように策定しました。
- 環境負荷量(二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、物質使用量)については、売上高による変動が大きいことから、基準年(2011年度)の排出量を売上高で除した値を基に毎年1%の追加削減目標を設定しました。

(事業年度:4月～翌年3月)

項目	単位	基準年	単年度目標		中長期目標			
		2011年度 (実績値)	2014年度 (改定目標値)		2016年度 (3年後目標)		2018年度 (5年後目標)	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	206		202		192	
①電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	188	(△3%)	184	(△5%)	175	(△7%)
②ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	7.51	(△3%)	7.36	(△5%)	6.99	(△7%)
③その他の化石燃料の削減	kg-CO ₂ /百万円	3.82	10.1		9.90		9.70	
(2) 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物の削減	kg/ 百万円	2.77	2.69	(△3%)	2.63	(△5%)	2.58	(△7%)
②産業廃棄物の削減	kg/ 百万円	7.22	7.00	(△3%)	6.86	(△5%)	6.71	(△7%)
(3) 水使用量の削減	?/ 百万円	0.43	0.42	(△3%)	0.41	(△5%)	0.40	(△7%)
(4) 物質使用量(購入量)の削減	kg/ 百万円	10.7	10.4	(△3%)	10.2	(△5%)	9.96	(△7%)
(5) グリーン購入の推進								
①事務用品の非グリーン購入品目数の削減	品目数	不明	428		419		410	
(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進								
①環境改善活動(QC、VE、IE)の完結報告	件数	480	442		450		460	
②環境に配慮した製品の開発	件数	不明	10		12		14	
(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底	-	届出済	PRTR制度対象物質の適正使用、適正管理に努め、届出を遵守する					

備考) ・二酸化炭素排出量における電力の排出係数は、九州電力㈱の2011年度実排出係数(0.525kg-CO₂/kWh)を

・()は基準年に対する削減率を示す。

・基準年の2011年度売上高は13,539百万円として、原単位目標値を設定した。

・その他の化石燃料については、都市ガスを2013年度より使用開始したため、都市ガスのみ2013年度実績より1%減の目標値とし、使用量の少ない軽油、灯油、液化石油ガス(基準年より毎年1%減)を合計しています。

5. 環境活動計画

●2014年度の環境活動計画は、以下のとおりです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

環境活動項目		具体的な取組活動
1	電力使用量の削減	日常的節電(人がいないときは照明、PCオフ等)各職場担当者を決め管理し状況を毎月EA21委員会にて報告する。
		エアコンフィルターの清掃清掃時期を、夏期は6月、冬期は10月に設定し、各部署で確実に清掃を行うよう徹底を図る。
		気温、状況に対応し冷暖房のデマンドシステムの管理を行う。
		精密工場の温度設定を夏期24℃、冬期20℃にする。
2	ガソリン使用量の削減	走行距離、使用量のチェックリストによるデータを収集(毎月)・分析し、EA21委員会にて報告する。
		計画に則り、車両更新時には、ハイブリット車への変更を推進し、状況をEA21委員会へ報告する。
3	その他の化石燃料の削減	軽油使用量の削減
		走行距離、使用量のチェックリストによるデータを収集(毎月)・分析し、EA21委員会にて報告する。
		ガス使用量の削減
		データを収集分析し、EA21委員会へ報告する。
		精密工場の温度、湿度の制御方法を見直し、削減を図る。

(2) 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

環境活動項目		具体的な取組活動
1	生ごみなど、可燃廃棄物排出量の削減	各職場担当者を決め排出量を管理し、月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)
2	シュレッダー屑の分別	生ごみなどと混在して廃棄されているシュレッダー屑を分別廃棄し、リサイクル化する。又月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)

②産業廃棄物排出量の削減

環境活動項目		具体的な取組活動
1	廃塗料(廃プラスチック)の削減	塗装仕様書に基づき適正な使用量を計画し、管理する。
2	廃油の削減	分別表示を行い、分別を徹底させる。
3	廃棄木材(リサイクル)の削減	リサイクル品として業者に収集を依頼している木材に関し、毎月廃棄量を集計し、EA21委員会に報告する。

(3) 水使用量の削減

環境活動項目		具体的な取組活動
1	日常生活水の削減	節水シールを貼り、節水を意識づける。

(4) 物質使用量(購入量)の削減

環境活動項目		具体的な取組活動
1	木材、ダンボール、紙使用の削減	毎月購入量を統計し、EA21委員会にて報告、廃棄量と合わせて、削減案立案に向け分析する。

(5) グリーン購入の推進

① 事務用品のグリーン購入の推進

環境活動項目		具体的な取組活動
1	事務用品のグリーン購入	データの収集、EA21委員会にて報告。 上長承認時にチェック。

② 製造部品のグリーン調達への推進

環境活動項目		具体的な取組活動
1	環境に優しいメッキの使用	6価クロム、メッキを、3価クロムメッキへ変更の維持(マテハン事業部で使用のボルトナット類をすべて3価クロムに変更、これを維持、管理する。又、その他の部品に関しても、積極的に3価クロム化を推進し、状況を、毎月EA21委員会にて報告する。

(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進

環境活動項目		具体的な取組活動
1	QC、VE、IEに関し、環境活動に有効な改善の件数の把握と活動の推進	完結件数の把握とEA21委員会や各委員会での報告(3か月に一度)及び活動の推進。
2	環境配慮製品の開発	EA21委員会で、開発状況について報告する。

(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底

環境活動項目		具体的な取組活動
1	化学物質の適正使用、適正管理の徹底	PRTR制度対象物質の集計を4半期毎に行いEA21委員会に報告、適正管理に努め、届出の遵守に備える。

(8) その他

環境活動項目		具体的な取組活動
1	内部監査の実施	内部監査計画書に基づき年に1度内部監査を行う。
2	教育訓練の実施	教育訓練計画書に基づき、定期的に教育訓練を行い、エコアクション21の全社員への浸透を図る。

6. 環境目標の実績と環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

- 今回は2014年度（2014年4月～2015年3月）における環境への取組状況を整理、評価しました。
- 原単位表記した環境目標については、期間内の売上高で実績値を計算しています。
- 設定した環境目標7項目の達成状況とそれに対応した取組活動の実施状況は、以下のとおりです。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

環境目標、活動計画ともに目標を達成しており、各職場で管理徹底されています。精密工場の湿度コントロールに関しては、設定値を高くすることで、電力及び都市ガスの使用量の削減に効果を出していましたが、製品への影響を考え、夏場に元に戻しました。都市ガスの未達成は、その影響によるものです。しかしながら、二酸化炭素排出量全体として目標を達成できたのは、状況を見て速やかに対応し、湿度コントロールを調整したこと及び、コンプレッサーの圧力調整や、精密工場の外気取り入れなど、細かな節電努力によるものです。今後も、変化に対応しながら、活動を続けていきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	206	195	106%	○	
1 電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	188	180	104%	○	
2 ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	7.51	6.48	116%	○	
3 その他の化石燃料の削減	灯油	kg-CO ₂ /百万円	1.43	1.39	0.00	-	○
	都市ガス	kg-CO ₂ /百万円	-	6.30	7.40	85%	×
	液化石油ガス(LPG)	kg-CO ₂ /百万円	1.10	1.08	0.93	116%	○
	軽油	kg-CO ₂ /百万円	1.29	1.27	0.50	254%	○
計	kg-CO ₂ /百万円	3.82	10.1	8.83	114%	○	

備考) ・2014年度の生産高(売上高)は、15,164百万円として計算しました。
 ・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。
 ・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない -:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 電力使用量の削減	日常的節電(人がいないときは照明、PCオフ等)各職場担当者を決め管理し状況を毎月EA21委員会にて報告する。	○
	エアコンフィルターの清掃時期を、夏期は6月、冬期は10月に設定し、各部署で確実に清掃を行うよう徹底を図る。	○
	気温、状況に対応し冷暖房のデマンドシステムの管理を行う。	○
	精密工場の温度設定を夏期24℃、冬期20℃にする。(6月より実施)	○
2 ガソリン使用量の削減	走行距離、使用量のチェックリストによるデータを収集(毎月)・分析し、EA21委員会にて報告する。	○
	計画に則り、車両更新時には、ハイブリット車への変更を推進し、状況をEA21委員会へ報告する。	○
3 その他の化石燃料の削減	軽油使用量の削減	○
	ガス使用量の削減	○
	精密工場の温度、湿度の制御方法を見直し、削減を図る。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

(2) 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物排出量の削減

環境目標は達成できませんでしたが、前年より減少しています。下期よりシュレッター層の分別を開始しました。前年より、一般廃棄物全体として減少していることから、分別の効果が現れていると思われます。今後は、シュレッター層に関しても目標を設定、評価を行い、効果を検証していきます。また、目標値のリサイクル率への変更も視野に入れながら、活動を行っていきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		前年実績	目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値				
1 一般廃棄物 排出量の削減	生ごみ・その他	kg/百万円	1.06	1.03	1.61	1.52	64%	×
	飲料缶、ビン	kg/百万円	0.0591	0.060	0.004	0.006	1500%	○
	その他不燃ごみ	kg/百万円	0.0074	0.007	0.013	0.011	54%	×
	OA用紙	kg/百万円	0.070	0.069	0.203	0.167	34%	×
	ダンボール	kg/百万円	1.38	1.34	1.27	1.44	106%	○
	新聞・雑誌	kg/百万円	0.185	0.18	0.05	0.03	360%	○
	計	kg/百万円	2.77	2.69	3.15	3.17	85%	×

シュレッター層に関しては、開始が下期だったため、今年度は「生ごみ・その他」に含めて計上しています。

備考) ・2014年度の生産高(売上高)は、15,164百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 生ごみなど、可燃廃棄物排出量の削減	各職場担当者を決め排出量を管理し、月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)	○
2 シュレッター層の分別	生ごみなどと混在して廃棄されているシュレッター層を分別廃棄し、リサイクル化する。又月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

* シュレッター層の分別を開始しました。



② 産業廃棄物排出量の削減

環境目標を達成できませんでした。活動計画の取組は行われています。

要因としては、機械移設に伴うオイルの廃棄や、今年度より、局所排気装置の清掃の際、塗料のついたフィルターを毎月廃棄するようになったことが挙げられます。木材については、資材購入時の梱包用木材や木パレットの廃棄が主になることが分かりました。今後は、削減案の立案のため、より詳しく現状の把握を行っていきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		前年実績	目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値				
1 産業廃棄物 排出量の削減	廃プラスチック	kg/百万円	1.63	1.58	2.18	1.82	72%	×
	廃油	kg/百万円	2.59	2.51	3.42	2.85	73%	×
	木材	kg/百万円	3.00	2.91	3.12	2.57	93%	×
	産業廃棄物計	kg/百万円	7.22	7.00	8.72	7.24	80%	×

備考) ・2014年度の生産高(売上高)は、15,164百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 廃塗料(廃プラスチック)の削減	塗装仕様書に基づき適正な使用量を計画し、管理する。	○
2 廃油の削減	分別表示を行い、分別を徹底させる。	○
3 廃棄木材(リサイクル)の削減	リサイクル品として業者に収集を依頼している木パレットに関し、毎月廃棄量を集計し、EA21委員会に報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

(3) 水使用量の削減

環境目標を達成できませんでした。二酸化炭素排出量同様、精密工場の湿度コントロールの調整が、水の使用量にも影響しています。今後は、気温、湿度に応じた、細かな調整を行っていきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		前年実績	目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値			
1 水使用量の削減	m ³ /百万円	0.43	0.42	0.47	0.47	90%	×

備考) ・2013年度生産高(売上高)は、15,164百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 日常生活水の削減	節水シールを貼り、節水を意識づける。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

(4) 物質使用量（購入量）の削減

環境目標を達成できました。要因としては、前年に比べ生産量が少なかったこともありますが、産業機械部門で実施している通い箱の効果もあります。今後は、増減要因のつかみきれていない木材についても、要因把握に努めます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		前年実績	目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値				
1 物質使用量 の削減	木材	kg/百万円	4.43	4.34	4.47	4.02	97%	×
	ダンボール	kg/百万円	5.39	5.28	3.28	3.45	161%	○
	紙	kg/百万円	0.89	0.86	0.57	0.56	151%	○
	計	kg/百万円	10.7	10.40	8.32	8.03	125%	○

備考) ・2013年度生産高(売上高)は、15,164百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

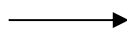
・判定区分 ○:達成できている ×:達成できていない —:判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 木材、ダンボール、 紙使用の削減	毎月購入量を統計し、EA21委員会にて報告、廃棄量と合わせて、削減案立案に向け分析する。	○

実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

通い箱



* 製品出荷用ダンボールの代用品。畳んで返却されます。

(5) グリーン購入の推進

<環境目標の達成状況>

① 事務用品のグリーン購入の推進

環境目標を達成できませんでした。今後は、購入量の増減による品目数の増減と区別するため、目標値をグリーン購入率に変更して活動を進めていきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度 (2014年4月～2015年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値		
1 事務用品グリーン購入品目数	品目	不明	グリーン品の購入件数延2,128品目以上	グリーン品の購入件数延2,084品目	98%	×

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 事務用品のグリーン購入	データの収集、EA21委員会にて報告。	○
	上長承認時にチェック。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

② 製造部品のグリーン調達への推進

昨年度より、数値目標による評価は廃止しましたが、環境活動計画は継続し、維持管理しています。

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 環境に優しいメッキの使用	6価クロム、メッキを、3価クロムメッキへ変更の維持(マテハン事業部で使用のボルトナット類をすべて3価クロムに変更、これを維持、管理する。又、その他の部品に関しても、積極的に3価クロム化を推進し、状況を、毎月EA21委員会にて報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○:もれなく行われた △:ほぼもれなく行われた ×:行われたとは言えない

(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進

環境改善活動は、環境目標を達成できました。今年度より、年間目標だけでなく半年毎の目標を立て活動を行いました。上半期も年度も、目標を達成できています。今後も、各事務局と連携をとって進捗管理を行い、活動を進めていきます。環境配慮製品の開発に関しては、目標を達成できませんでしたが、未完の件に関しては、次年度も開発を継続します。今後は、未達成の原因を把握し、事業計画に沿って活動を推進していきます。

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2014年度(2014年4月～2015年3月)						目標達成率	達成状況判定
		2011年度実績値	上半期		下半期		年度計			
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1 環境改善活動(QC、VE、IE)の完結報告件数	件	不明	291件	296件	151件	237件	442件	533件	121%	○
2 環境配慮製品の開発	件	不明	-	-	-	-	10件	5件	50%	×

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 QC、VE、IEに関し、環境活動に有効な改善の件数の把握と活動の推進	完結件数の把握とEA21委員会や各委員会での報告(3か月に一度)及び活動の推進。	○
2 環境配慮製品の開発	EA21委員会で、開発状況について報告する。	○

(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底

環境目標を達成できました。今後とも法令に基づき管理し、毎年6月に使用量の届出が行えるよう、四半期毎に使用量を集計し、管理を徹底していきます。

<環境目標の達成状況>

- PRTR制度対象物質の適正使用に関して、データ収集し、2014年6月に使用量届出を行いました。

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 化学物質の適正使用、適正管理の徹底	PRTR制度対象物質の集計を4半期毎に行いEA21委員会に報告、適正管理に努め、届出の遵守に備える。	6月提出済み

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反訴訟等の有無

- 当社に関する環境関連法規等の遵守事項は、以下のとおりであり、2014年度遵守状況を確認した結果、法令違反等はありませんでした。
- また、関連機関や利害関係者からの違反指摘や訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

主な環境関連法規	主な遵守事項
廃棄物処理法	マニフェストの発行、保管
フロン回収破壊法	許可業者への委託
化管法 (PRTR法)	特定化学物質の排出量を年に1度6月に届出する

* 委託している産廃業者の現状確認を行いました。



8. 内部監査の実施状況

- 外部審査に先立って、環境管理システム全体の状況を内部監査した結果、環境への取組についてのガイドラインで規定する要求事項に適合しているものの、教育・訓練に関し、活動内容が全社へ浸透するよう、内容や方法を見直す必要があることが分かりました。
- 結果を代表者に報告し、環境管理責任者を通じて各部門への取組の徹底を指示しました。

9. 環境教育訓練の実施状況

- 教育訓練計画書に基づき全社員対象に以下の内容で教育訓練を行いました。

2014年 4月	・・・	エコドライブについて（外部講師）
2014年 4月	・・・	環境経営システムの概要（新入社員向け）
2014年 6月	・・・	エコアクション21活動と経営との関係及び活動の進め方（外部講師 EA21 委員向け）
2014年9～10月	・・・	環境活動レポートの説明及び 2014年度活動中間報告（全社員向け）
2014年 11月	・・・	内部監査員教育

10. 全体の反省と今後の取組

エコアクション21の活動開始から3年が経過しました。取組を行っていく中で、より正確なデータを収集出来るようになり、各項目の増減の要因や傾向も分かってきました。しかし、生産量（売上）などの状況の変化が大きく、これに対し、環境データを適切に評価する必要があることから、今後は基準年を変更し、四半期毎の目標値も見直すなどして、より実質な活動に繋げていきます。

11. 代表者よる全体評価と見直しの結果

PDC Aは、すべての仕事の進め方の基本であり、エコアクション21の取組においても、PDC Aを回す事が重要です。チェック時に「目標を達成できなかった要因を分析する」だけに留まらず「目標を達成するために、要因分析結果を踏まえてやり方を変えて試してみよう」という積極的な姿勢で活動を行って下さい。

12. 地域への貢献

- 会社周辺の清掃活動など、積極的に地域貢献を行っています。



* 古賀市海岸の清掃活動の様子